

4 - 2 全機関のべ利用人数の推計

(1) 全機関のべ利用人数推計の考え方

平日休日別、地域別、個人属性別、目的別の1人当たりトリップ数(発生原単位)を設定し、平日休日別・地域別・個人属性別・目的別原単位モデルを構築した。全機関のべ利用人数は、この原単位モデルに地域別、個人属性別の人口を乗じることにより推計した。

なお、全機関のべ利用人数の推計においては、地域内の発生原単位と地域間の発生原単位は異なるため、それぞれに分けて推計を行った。

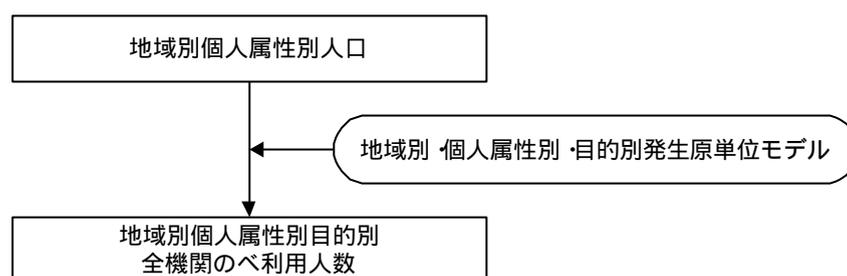


図 全機関のべ利用人数推計の考え方

(2) 発生原単位モデルの検討

1) 地域内発生原単位モデル

推計モデルの考え方

平日休日別、地域別、個人属性別、目的別に原単位モデルを構築した。

【モデル式】

平日・休日別の地域別目的別全機関のべ利用人数

$$G_{\text{平日}}^{\text{area},r} = \sum_{\text{area}} \sum_{klmn} a_{\text{平日},klmn}^{\text{area},r} \cdot \text{pop}_{klmn}^{\text{area},r}$$

$$G_{\text{休日}}^{\text{area},r} = \sum_{\text{area}} \sum_{klmn} a_{\text{休日},klmn}^{\text{area},r} \cdot \text{pop}_{klmn}^{\text{area},r}$$

$G_{\text{平日}}^{\text{area},r}, G_{\text{休日}}^{\text{area},r}$: 平日・休日別・地域別 (area) ・ 目的別 (r) ・ 全機関のべ利用人数

$a_{\text{平日},klmn}^{\text{area},r}, a_{\text{休日},klmn}^{\text{area},r}$: 平日・休日別・地域別 (area) ・ 目的別 (r) ・ 個人属性別 (k, l, m, n) ・ 発生原単位

$\text{pop}_{klmn}^{\text{area},r}$: 地域別 (area) ・ 個人属性別 (k, l, m, n) ・ 人口

k, l, m, n : 性 (男女) , 年齢階層 (~14 歳、15~64 歳、65 歳~) , 就業・非就業、免許保有の有無

area : 10 地域 (地域: 都市地域、平野地域、中山間地域 都市圏: 3 大都市圏、地方中枢都市圏、地方中核都市、その他)

r : 目的 (通勤、通学、帰宅、業務、私用)

年間平日・休日別の地域別目的別全機関のべ利用人数

$$G_{\text{年間}}^{\text{area},r} = \text{weekday} \cdot G_{\text{平日}}^{\text{area},r} + \text{holiday} \cdot G_{\text{休日}}^{\text{area},r}$$

weekday : 平日数、 holiday : 休日数

現況、将来とも平日 250 日、休日 115 日 (土曜日を含む) として設定。